

成績評価、単位修得の目安、学部ごとの留意事項について

(1) 成績評価について

成績評価	説明
A+	所期の学習目標をほぼ完全に達成するか、または傑出した水準に達している。 ※100点法では90点以上に対応。
A	問題はありますが、所期の学習目標を相応に達成している。 ※80～89点に対応。
B	誤りや不十分な点があるが、所期の学習目標を相応に達成している。 ※70～79点に対応。
C	所期の学習目標の最低限は満たしている。 ※60～69点に対応。
F	単位を与えるためにはさらに勉強が必要である。 ※60点未満に対応。

- 「A+」「A」「B」「C」を合格とし、所定の単位を授与します。
- 成績を段階表示することになじまない科目については、合格は「P」、不合格は「F」で表示されます。
- 編入学、海外留学、放送大学科目など本学以外で修得した単位を本学で認定する場合は、「N」または「T」で示されます。

(2) 単位修得の目安

学士号を取得する（卒業）ためには、4年以上（薬学部薬学科は6年以上）在学し、かつ所定の単位を修得しなければなりません。4年間（薬学部薬学科は6年間）で卒業するために各回生終了までに修得が必要な単位数の目安は次の通りです。なお、所属の学部、学科等によっては、必修科目が設定されている場合があります（詳細は学生ご本人に配布している「学修要覧」をご参照ください）。また、単位修得数が特に少なかった学生に対しては、事務室から本人に連絡して面接を行い、学修指導や援助を行うことがあります。

<薬学部以外の学部（生命科学部については2017年度以降入学者）>

1回生	2回生	3回生	4回生以上
32～35単位	64～70単位	96～110単位	124単位以上 ※卒業に必要な単位

※理工学部につきましては、2011年度以前に数理学科および物理科学科以外の学科に入学している場合は、卒業に必要な単位は132単位以上となります。

<生命科学部>（2016年度以前入学者）

1回生	2回生	3回生	4回生以上
34単位	68単位	106単位	132単位以上 ※卒業に必要な単位

<薬学部薬学科>（2014年度以前入学者）

1回生	2回生	3回生	4回生	5回生	6回生以上
78単位 ※3回生への進級に必要な最低単位		150単位 ※5回生への進級に必要な最低単位		172単位 ※5回生時は、病院・薬局実習および卒業研究に関する単位の22単位しか修得できません。	195単位以上 ※卒業に必要な単位

※5回生終了時の修得単位が172単位では、6回生時に多くの単位（23単位）を修得しなければならなくなります。したがって、172単位は卒業するにあたり、5回生時に最低でも修得しておかなければならない単位数とご理解ください。

<薬学部薬学科>（2015年度以降入学者）

1回生	2回生	3回生	4回生	5回生	6回生以上
85単位 ※3回生への進級に必要な最低単位		134単位 ※4回生への進級に必要な最低単位	164単位 ※5回生への進級に必要な最低単位	186単位 ※5回生時は、病院・薬局実習および卒業研究に関する単位の22単位しか修得できません。	206単位以上 ※卒業に必要な単位

※5 回生終了時の修得単位が 186 単位では、6 回生時に多くの単位 (20 単位) を修得しなければならなくなります。したがって、186 単位は卒業するにあたり、5 回生時に最低でも修得しておかなければならない単位数とご理解ください。

<薬学部創薬学科>

1 回生	2 回生	3 回生	4 回生以上
76 単位 ※3 回生への進級に必要な最低単位		108 単位 ※4 回生への進級に必要な最低単位	128 単位以上 ※卒業に必要な単位

(3) 学部ごとの留意事項

学部	留意事項														
経済学部	所属の語学コースにより、指定の語学テストにおいて学科ごとに設定された点数を取得することが、卒業の要件として定められている場合があります。														
経営学部	<p><2013 年度以降入学生> 「専門演習 I～IV」「卒業論文」は計 5 科目 10 単位全ての単位を修得した時点で卒業に必要な単位として算入されます。 履修途中で F 評価となった(10 単位パッケージ未完成)場合、それまで修得した単位数は全て卒業に必要な単位として算入されません。(※1・2)</p> <p>※1 成績通知表の左下表中の【合計】欄、「総修得単位」にはパッケージ未完成の場合も単位が含まれています。「同総修得単位」(=卒業に必要な総修得単位)をご確認ください。</p> <p>※2 正規留学プログラムに参加する場合、留学期間中の「専門演習 I～III」の受講は免除されます。(ただし、「専門演習 IV」、「卒業論文」は受講必須です。)なお、受講免除となっている場合は、成績通知表の左下表「(*内数) 専門演習 10 単位」が「8 単位」、「6 単位」、「4 単位」と表記されています。</p>														
情報理工学部	<p>2 回生、3 回生に進級するためには、各回生終了時に所定の条件を満たす必要があります (進級制度)。</p> <p><2017 年度以降入学生></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回生</th> <th>進級条件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3 回生</td> <td>・総修得単位数 (要卒) 50 単位以上修得</td> </tr> </tbody> </table> <p><2014～2016 年度入学生></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回生</th> <th>進級条件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2 回生</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・学部共通専門科目のうち 8 単位以上修得 ・外国語科目のうち 3 単位以上修得 ・総修得単位数 (要卒) 20 単位以上修得 </td> </tr> <tr> <td>3 回生</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・プログラミング演習 1・2 の修得 ・学部共通専門科目、学科専門科目のうち 20 単位以上修得 ・外国語科目のうち 6 単位以上修得 ・総修得単位数 (要卒) 50 単位以上修得 </td> </tr> </tbody> </table> <p><2013 年度以前入学生> (3 回生への進級制度のみ)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回生</th> <th>進級条件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3 回生</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・プログラミング演習 1・2 の修得 ・外国語科目のうち 6 単位以上修得 ・総修得単位数 (要卒) 50 単位以上修得 ※2011 年度以前入学メディア情報学科のみ 52 単位以上修得 </td> </tr> </tbody> </table>	回生	進級条件	3 回生	・総修得単位数 (要卒) 50 単位以上修得	回生	進級条件	2 回生	<ul style="list-style-type: none"> ・学部共通専門科目のうち 8 単位以上修得 ・外国語科目のうち 3 単位以上修得 ・総修得単位数 (要卒) 20 単位以上修得 	3 回生	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラミング演習 1・2 の修得 ・学部共通専門科目、学科専門科目のうち 20 単位以上修得 ・外国語科目のうち 6 単位以上修得 ・総修得単位数 (要卒) 50 単位以上修得 	回生	進級条件	3 回生	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラミング演習 1・2 の修得 ・外国語科目のうち 6 単位以上修得 ・総修得単位数 (要卒) 50 単位以上修得 ※2011 年度以前入学メディア情報学科のみ 52 単位以上修得
回生	進級条件														
3 回生	・総修得単位数 (要卒) 50 単位以上修得														
回生	進級条件														
2 回生	<ul style="list-style-type: none"> ・学部共通専門科目のうち 8 単位以上修得 ・外国語科目のうち 3 単位以上修得 ・総修得単位数 (要卒) 20 単位以上修得 														
3 回生	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラミング演習 1・2 の修得 ・学部共通専門科目、学科専門科目のうち 20 単位以上修得 ・外国語科目のうち 6 単位以上修得 ・総修得単位数 (要卒) 50 単位以上修得 														
回生	進級条件														
3 回生	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラミング演習 1・2 の修得 ・外国語科目のうち 6 単位以上修得 ・総修得単位数 (要卒) 50 単位以上修得 ※2011 年度以前入学メディア情報学科のみ 52 単位以上修得 														
薬学部	・薬学部の学習では、基礎から専門まで、入学から 1 年ごとに着実に学力を積み上														

げていくことが重要であるため、当該学期に単位修得状況が著しく少ない学生や進級要件を満たさない学生には、指導教員等が面談を行い、注意喚起と今後の改善のための助言を行っております。保証人の皆様におかれましては、本成績通知表をご確認いただくとともに、上記の指導の有無を学生ご本人に直接ご照会ください。該当する場合には、この機会に学習状況や学生生活の送り方、将来などについてよくお話し合い、学習の遅れを取り戻し、無事卒業できるようご指導ください。

- ・薬学科におきましては、学業成績と国家試験の合格は高い相関がありますので、低回生時からきちんと学習の遅れを取り戻すことが必要です。
- ・薬学科では3回生、5回生進級時（2014年以前の入学生）、3回生、4回生、5回生進級時（2015年度以降の入学生）、創薬科学科では3回生、4回生進級時に進級の審査を行っております。

※薬学科におきましては、2015年度以降の入学生は同一学年において2回目の進級不可となった場合は除籍となります。